

令和 8 年度（英語コミュニケーションⅡ）シラバス

教 科	英語	科 目	英語コミュニケーションⅡ		
単 位 数	4	学 年	2	類 型	共通
教 科 書	BLUE MARBLE English Communication Ⅱ (数研出版)				
学習目標	日常的な話題・社会的な話題を言語活動を通して学習することで、的確に情報や考えを理解したり、適切に表現したりするコミュニケーション能力を養うとともに、多様な知識と教養を習得し、主体的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	Lesson1 Leadership in Modern Times Lesson2 The Diversity of Traditional Houses Lesson3 Improving Society with Avatar Robots	・様々な構文 ・現代に求められるリーダーシップとは。 ・未来完了形 ・世界の伝統家屋の特徴と役割を知る。 ・助動詞+have+過去分詞、進行形の受動態、完了形の受動態 ・分身ロボットの役割と活用例、孤独という社会問題について考える。
2 学期	Lesson4 Approaches to Food Waste Lesson5 Animals as Indispensable Partners Lesson6 An Irish Poet on a Mission Lesson7 Be Free from Gender Bias	・完了不定詞、完了動名詞、独立不定詞 ・食品ロスについて考える。 ・分詞構文、C:分詞 ・動物の人間に対する貢献について学ぶ。 ・複合関係詞 ・一人の外国人の目を通した日本の古典文学の魅力、日本人の自然観を味わう。 ・比較表現 ・ジェンダーバイアスについて考える。
3 学期	Lesson8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees Lesson9 Tackling Global Warming Lesson10 Keys to Finding Happiness	・仮定法現在 ・難民の境遇や背景について学ぶ。 ・名詞＋句/節、助動詞の仮定的意味 ・地球が抱えている問題とその解決のためにできることを考える。 ・仮定法現在、比較、省略、部分否定 ・幸せとは何か、幸せを切り開く方法はどのようなものかを考える。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	習得すべき知識や重要な概念などを理解している。それらを既得の知識及び技能と関連付けたり活用したりする。	・ 定期考査 ・ 確認テスト ・ パフォーマンステスト
思考・判断・表現	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けている。	・ 定期考査 ・ 確認テスト ・ パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。	・ 授業に取り組む態度 ・ ノートや課題における記述 ・ パフォーマンステスト ・ 自己評価